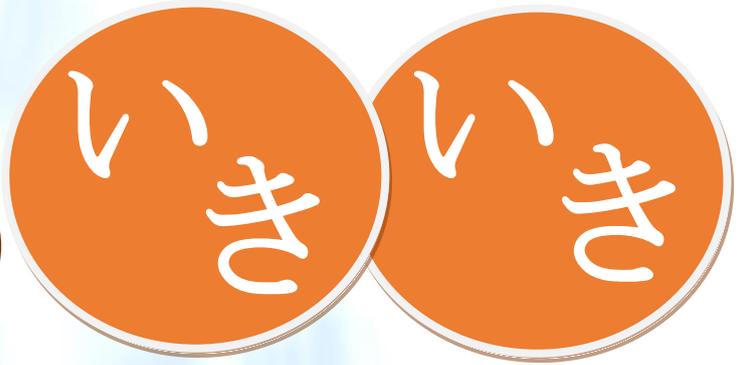


地域の支えあい活動や介護予防活動をご紹介します

見~つけた!

# 地域の活動



## Vol.5

2016年12月発行

### 地域の子どもは「地域の宝」

### 多世代交流による地域活動を実施する赤松団地



赤松団地健康福祉委員会世話人の皆さん

世話人の皆さんも、たくさん笑顔を見ながら、この交流会に参加してくれた親が、自分たちの活動を引き継いでくれることを、そして親から子へ、さらには孫へと受け継がれていくことを期待されていました。

このような多様な世代の交流は、核家族化が進み、日常的に高齢者と接する機会が少なくなってきた子どもたちにとって貴重な経験であり、高齢者の皆さんも元気な子どもたちからたくさんパワーをもらっているように見えました。

今回の「地域のいきいき活動」は、赤松団地健康福祉委員会の多様な世代が関わる地域交流活動をご紹介します。  
具同地区にある赤松団地では、子どもたちを未来の社会を担う「地域の宝」として、地域で子どもたちを育む活動を行っています。  
今回取材した「クリスマス交流会」もその一つで、親子や高齢者等34名が集まり、昼食を囲みながら、ダンスやゲームなどで交流を楽しんでいました。

また、週に1回実施している介護予防活動では、複数人で楽しめるじゃんけんペタンコやグラウンドゴルフ等を取り入れており、地域住民が声をかけながら誘い合うことで、男性参加者も増え、地域交流の場が充実し、支えあいの意識も高まってきているそうです。  
赤松団地健康福祉委員会は、委員会の活動を、多世代交流の場・地域連携の場として取り組みながら、地域のすべての人が、今以上に楽しく安心して暮らせる地域を目指しているように感じました。

